

議 事 録

| | | | | |
|---|---|-----|-----|-----------------------------|
| 件 名 | 令和7年度 高砂市地球温暖化対策地域協議会 | | 日 時 | 令和8年3月5日 (木) 14時～15時半 |
| 出 席 者 | 【委員】 土川会長、赤堀副会長、石本委員、井野委員、澤田委員、糴谷委員、神吉委員、北尾委員、清川委員、加治委員、山田委員、片岡委員、吉田委員、山本委員 | 日 時 | 場 所 | 高砂市役所 本庁舎301 会議室 |
| | 【事務局（高砂市生活環境部）】 谷井、松本、山下、勝部、畑、栗林、林、三谷 | | | |
| 配布資料 | <p>会議次第</p> <p>【資料1】 委員名簿</p> <p>【資料2】 高砂市地球温暖化対策地域協議会設置要綱</p> <p>【資料3】 高砂市地球温暖化対策地域協議会の会議の公開に関する要綱</p> <p>【資料4】 高砂市地球温暖化対策実行計画の進捗状況</p> <p>【資料5】 高砂市地球温暖化推進事業補助金について</p> <p>【別冊】 高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版</p> <p>【別冊】 第2次高砂市環境基本計画（改訂版）概要版</p> <p>【当日追加資料1】 国・地域における脱炭素施策の動向について（山本委員作成）</p> <p>【当日追加資料2】 気候ネットワーク通信No.167</p> <p>【当日追加資料3】 脱炭素先行地域選定結果（第7回）の概要 抜粋</p> | | | |
| 議事内容 | | | | |
| 1. 委員自己紹介 山本委員 | 各委員自己紹介 資料「国・地域における脱炭素政策の動向について」により説明 | | | |
| 2. 会長・副会長の選任 について | 会長に土川氏、副会長に赤堀氏を選任し、了承。 | | | |
| 3. 会長挨拶 | | | | |
| 4. 会議の公開について | 本日の会議は高砂市地球温暖化対策地域協議会設置要綱に基づき公開するものとする。（傍聴者なし） | | | |
| 5. 高砂市地球温暖化対策 実行計画（区域施策編）の 取り組み状況について (委員) | 資料4について説明 | | | |
| (事務局) | 令和12年度の目標値を達成する見込みであるか。 | | | |
| (委員) | 事業者が令和12年度のCO ₂ 排出量の目標を達成できればという前提であり、現状では厳しくエネルギー転換が必要である。 | | | |
| (事務局) | 草や剪定枝をエコクリーンピアに搬入すると肥料にリサイクルされ、燃やす必要がなくなり、CO ₂ の排出抑制にもなるが、搬入料金を有料から無料にすれば効果が大きくなるのではないか。 | | | |
| (委員) | 肥料化するコストやCO ₂ 排出量の削減、売電益等、総合的なコストを勘案しながらどうすればいいかを考えていく。 | | | |
| (委員) | CO ₂ 排出量の推移のところ、令和2、3年度についてどれくらいコロナ禍の影響があるのか。令和4年度までのデータしかないが、それ以降のデータはないのか。産業部門がほとんどを占めているが、高砂市は事業所が多いからなのか。 | | | |

| | |
|--------------------------|--|
| (事務局) | 令和2、3年度のCO ₂ 排出量についてコロナ禍の影響があったとは考えていない。産業部門については各事業所が県に届出しているデータが令和5年度分まで把握しており、横ばいになっている。産業部門が多い理由については石炭や重油を使用している大手の事業所が多いため。課題としてエネルギー転換に事業者が取り組んでいる。 |
| (委員) | 高砂市の人口が年々減っているのにもかかわらず、令和4年度に一般廃棄物のCO ₂ 排出量が増加しているのはどうしてか。 |
| (事務局) | ごみの排出量は減っているが、CO ₂ 排出量についてはプラスチック含有量をかけることにより算出する。その組成率が上がっているためにCO ₂ 排出量が増加している。 |
| 6. 高砂市地球温暖化対策推進事業補助金について | 資料5について説明 |
| (委員) | 省エネ家電買替促進事業補助について令和7年度の補助金は5月から8月までとあるがこれは予算上限に達したから終了したのか。 |
| (事務局) | この補助事業については、令和6年度に初めて実施しており、この時は2週間で終了した。令和7年度についても想定した期間より早く終わった。 |
| (委員) | 令和7年度の各々の総額はいくらか。 |
| (事務局) | 家庭用太陽光発電システム・蓄電池システム補助については予算650万円に対し、約600万円、自家消費型住宅用太陽光発電設備等導入補助金予算1,462万5千円に対し、351万円、省エネ家電買替促進事業補助については2,000万円に対し、2,000万円全てを使用している。電気自動車等購入補助金については800万円に対し、400万円弱、中小事業者向け家環境配慮型トラックについて申請はない。中小事業者向け脱炭素無化設備等導入促進補助金2,416万円に対し、今年度が1,530万円、来年度625万円2つ合わせて2,000万円強となっている。 |
| (委員) | 達成度が高いところと未達のものがある。予算が余る部分については、来年度に繰り越すということはできないのか。 |
| (事務局) | 予算については当該年度で執行するので、次年度は新たに予算措置する必要がある。 |
| (委員) | 執行状況が多いところと少ないところがある。来年度はそれをみて調整するのか。 |
| (事務局) | 来年度予算については執行状況を見て判断する。単純に多いから増やすというわけではないが、余っているものについては減額することもある。ある程度執行状況を見て、予算を組み立てる。 |
| (委員) | 電気自動車等購入補助事業については今年度で終了するのか。 |
| (事務局) | 電気自動車の補助は3年間行った。補助金は3年間見直しをしているが、当該補助金は今年度で終了する。 |
| (委員) | 中小事業者向け脱炭素設備等導入促進補助事業については来年度もするのか。 |

| | |
|------------------|--|
| (事務局) | <p>中小事業者向け脱炭素設備等導入促進補助事業は3年間やってきており、今回見直しを行う。令和8年度については市単独補助でエネルギー転換として水素、アンモニア及びバイオ燃料に対する補助を行う（ただし、木質チップと薪については県の補助制度があるため除く。）。それと高効率で産業用のコージェネレーションシステムに対する補助を会社の規模に関係なく行う予定である。</p> |
| (委員) | <p>省エネ家電買い替え促進事業補助について令和5年度はやってないのか。 令和8年度に同様の補助事業をするにしても今まで補助を受けた人は対象にはならないのか。</p> |
| (事務局) | <p>令和5年度はこの事業をやっていない。また、令和8年度については、令和6、7年度に補助を受けていない新規の人が補助対象になる。</p> |
| (委員) | <p>電気自動車等購入補助金について、電気自動車一台当たり10万円の補助であるが、加古川市では20万円である。それについて額を上げる等検討はしないのか。</p> |
| (事務局) | <p>加古川市は単年度の補助だと思われる。本市は一般財源で押上効果を狙うために3年間補助してきた。車種が少ないこと、令和8年以降は国の補助金が100万円以上に引き上げられたこと、軽自動車については持ち出し価格が市場の軽自動車価格とかけ離れていないことを踏まえて、押上効果があまりないと考え、令和8年度は実施しないこととした。</p> |
| (委員) | <p>家庭用の太陽光発電の設置補助について、新築での申請が多いのか、既築での申請が多いのか。東京都は建築事業主に対して、太陽光発電の設置義務化を展開しているが、高砂市は事業者への導入義務化を検討しているか。</p> |
| (事務局) | <p>民生部門で2つの補助事業を上げているが、家庭用太陽光発電システム・蓄電池システム設置補助事業については市の単独補助事業であり、既築が多い。一方、自家消費型住宅用太陽光発電設備等導入補助事業については、太陽光発電システムと蓄電池を同時に設置する必要があるため、新築の家が多い。事業者への義務化については令和11年度まで兵庫県の重点対策加速化事業は続くので、その後の動向を見て、兵庫県を含めた判断になると思う。</p> |
| 議題7 その他 (事務局) | <p>高砂市環境基本計画と高砂市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)は、2つの計画が同時に進行している状態で、令和12年度に2つの計画を一体化しようと考えている。その際に、この地域協議会を諮問機関である環境審議会に組み入れて、事業者の代表、市民代表も参画していただき、この地域協議会を発展的に解消しようと考えている。審議会の委員構成を考える際には、地域協議会で参画、協力をお願いする。</p> |
| (会長) | <p>全体を通して質問はあるか。</p> |
| (委員) | <p>ごみが減ると発電が減ってしまうということは地球温暖化対策という視点でいいことではないかと思うのだが。</p> |
| (事務局) | <p>とうばんクリーンエナジーを設立するにあたって、ごみ(主にプラスチック)が今後約4割以上減るという試算を立てた上で、その発電を有効活用していこうと検討している。その計画に向かってごみ減量化に努める。</p> |

